

*** 牧師室より ***

「どうして神がおられるなら・・・」

また日本で大きな地震が起きました。今回の地震は一度大きな地震があって、これから起こるのが「余震」だろうと思っていたのが、後からもっと大きな地震が起こったことが大きな被害になり、また精神的ダメージも大きかったと思います。そして、現地の方々は、いつまでも続く地震に「また何か起こるのではないか」という不安の中におられると思います。

今も、痛みと不安の中に過ごしておられる方々のために祈ります。

そして、エクアドルでの大地震、内戦が一応停戦しているけれども、不安定なシリアの状況、各地で起こるテロ、そんなニュースを聞かたびに、「神様、どうしてですか？」という思いが湧いてきます。それだけではありません。身近なところで起こる悲劇に、また人生に起こってくる問題や試練に、こじれて修復できなくなってしまった人間関係に、何度「神様がおられるなら、どうして・・・」と声を上げたことでしょうか？

そんな声を上げながらも、思わされることがあります。「神がおられるならどうして・・・？」と思うのは、「神がおられたら、もっとよいことをしてくれるはずだ」という前提があるからなんですが、聖書によると、神はその愛をどこに表されているかということ、まず、私達の心に注いでおられる、というのです。

「神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。」

ヨハネ第一の手紙 4:9-10

神はひとり子イエスをこの世に送り、そのイエスが私達の罪の身代わりとして十字架で死んでくださったことによって、愛を表されたというのです。



「神の愛が知りたいなら、イエスの十字架を見なさい」ということですね。そして、その愛を受けたなら、今度は周りの人に愛を表していくのです。

「愛する者たちよ。神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである。」11節

私たちはそのために、生かされているのです。愛を受けて、愛を与えるため

に生かされているのです。被災地に飛んで行かれる方々もおられるでしょう。困難を覚えている国のために援助に行く方々もおられると思います。使命を感じたら、行動すること、それは大切です。しかし、それとともに、地球の反対側にいる人々は愛せても、あなたの隣りにいる人を愛せなかったら、それはどうでしょうか？身近なところにいる誰かのために、何かをしようではありませんか。悲劇を前にして、「どうして？」を問わないではられない私達です。しかし、そこに囚われてしまうのではなくて、神様の愛を受けて、誰かに愛を注いでいく働きをさせていただこうではありませんか。

*** 証し ***

子供達へ神様からのメッセージを伝える 山崎真由美



特に子供が好きなのでもなく、どちらかと言えば子供は苦手であり、独身で子育て経験もない私は、当初どのように子供達に接してよいかわかりませんでした。しかし、奉仕者が足りなく、裏方の仕事ならと参加させてもらったのが、子供ミニストリーに関わりを持った最初だと思えます。こんな私が、本当に子供達に重荷を持つようになったのは、自分の姿を子供達に重ねてみた時からでした。

私が子供時代に周りから感じ取ったメッセージは、「私に価値がなければ愛されない、必要とされない」ということでした。その「価値」は自分にはなく、新たに付け加えていかなければならぬらしい。何かが人よりもできる、役に立つ、一緒にいると楽しい、嬉しいとかのことなんだろうと、子供なりに私は考えました。相手を満足させ、自分の存在価値を認められるために、そして何よりも、自分自身が自分の存在価値を認めるために、努力を続けなければなりませんでした。そして、それは終わりのないものです。常に自分より優れた人がおり、常に相手と自分が満足する理想像のハードルは上がっていき、いつまでたっても自分に絶対的な「価値」を与えることはできません。

こうして私は、基本的に「自分は価値がない人間だ」と信じて、大人になり社会に出ていきました。その信念に基づいた行動の結果、支払った代償は大きなものでした。その後イエス様に信仰を持ち、だいぶ時が経った現在でも、当時受けた傷の影響は続いています。大人になった私は、本来神様が私のために用意してくださった目的のためではなく、この傷のために長い長い時間を費やしてしまうことになったのでした。

ですから、もし、私が子供時代に感じたのと同じメッセージを感じ取っている子供が一人でもいるなら、私はその子に知ってもらいたいと思いました。「あなたはそこにいてもいいんだよ。そのまま愛される価値があるんだよ」と。できないこともたくさんあるし、諦めないといけないことも出てくると思う。今のままでは完璧ではないというのはその通りだと思う。これからも間違ったこともするし、失敗もすると思う。で

も、それは「あなた自身」が駄目だということではない。この世にあなたが生まれてくる前から、あなたが何もすることができない時から、あなたには価値が、存在する理由がすでにある。なぜなら、神様があなたのことを考え、愛し、特別に大切に丁寧に作られ、この世に送られたからなんだよ、と言うことを、子供の時に知り、感じ、心の奥深くで自分のものとして欲しいと、私は思っています。その子が神様からのメッセージを受け取り、大人になった時に、神様が特別に準備してくださった最高の目的のために、その人生を十分に用いることができれば、その子の人生はなんと素晴らしいことか、どんなに神様の祝福が溢れることかと思えます。

私がどんな影響を子供達に与えることができるのか、わかりません。子供たちのお母さんでもない、先生でもない私が子供達と接する時間は本当に短く、何をしても、何を言っても、覚えていてくれる子がいるかどうかもわかりません。それでも、私は、神様に祈り続けたいと思います。ひとりでも多くの子供達の心に、神様からの真実のメッセージが届きますように。

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。
わたしはあなたを愛している。」(イザヤ書 43:4)

*** 教会図書紹介 ***

「こどものなかに見えるもの」

井上直子著
発行:いのちのことば社
(図書番号706)



著者の名前を見て、「あれ」と気付かれた方がおいででしょうか。そう、この本を書かれたのは、20年ほど前まで当教会にいらした井上直子姉です。ご主人であられる井上義牧師の留学のため渡米、当教会で教育主事を務めてくださった井上牧師とともに美しい声で特別賛美をたびたび聞かせてくださいました。日本に帰国後は牧師夫人としてご奉仕する傍ら、幼稚園教諭としても用いられ、今では東京都にある教会附属の善隣幼稚園で園長先生をなさっています。その井上姉が幼稚園で日々繰り広げられる出来事をつづった“園長ブログ”をもとに、本当に大切な子育ての軸を伝えたい、とまとめたのがこの本です。子どもたちが巻き起こすドラマ、言葉にならない心の動き、忘れてしまっていた大切なこと、などなど。。。子育て中の方にはもちろん、子どものいない方や子育ての終わった方にも、子どもの目線に立つことで見えてくる風景に気付くため、読んでいただきたい一冊です。

関連サイト: <https://youtu.be/sgHhexuwrds> (Y.K.)

「浅子と旅する。」 ～波乱の明治を生きた不屈の女性実業家

発行:いのちのことば社
レストブックス
(図書番号708)



大人気だった NHK 朝の連続テレビ小説「あさが来た」。そのヒロイン・あさ、のモデルとなった実在の人物、広岡浅子の生き方をまとめた本です。ゆかりの地やゆかりの人物、そして浅子本人の貴重な写真をふんだんに盛り込み、読みやすい内容になっています。テレビドラマでは触れませんでした。浅子は晩年クリスチャンになりました。「七転び八起き」ならぬ「九転び十起き」を信条に自分で道を拓いてきた浅子が、最期に信仰をもつまでの経緯、その信仰のありかたなど、ぜひ、興味深く読んでください。(Y.K.)

*** お知らせ ***

- ❖ 5月第3週のクロッキー教室はお休みになります。
- ❖ 6月12日(日)は「野外礼拝」です。外に出て、緑とそよ風の中で礼拝を守りましょう。Paramus の Van Saun Park の Area I(アルファベットの“I”)で午前9時30分集合です。礼拝の後には皆さんでバーベキューやスポーツ、レクリエーションなどを楽しみます。是非お出かけください。バーベキューは大人(12歳以上)5ドル、子供(4-11歳)3ドルです。詳しくは下のリンク先のチラシをご覧ください。
www.jccofnj.org/index_items/2016/2016_Yagai_Reihai.pdf
- ❖ 6月25日(土)午前10時～午後5時に教会にて今年第2回目の「一日アシュラム」が持たれます。忙しい生活の中で時間を取り分け、静かに聖書のみ言葉に聴き恵みを味わう一日をとともに過ごしましょう。
- ❖ 今年の JOY JOY Camp の受付が始まりました。今年は8月8日(月)～12日(金)に「JOY JOY レスキュー隊」というテーマで持たれます。5月21日が申込の締切です。詳しくは下のリンク先のチラシをご覧ください。是非お友達にご紹介下さい。
www.jccofnj.org/index_items/2016/JoyJoyCamp_2016.pdf
- ❖ 今年はアメリカ東海岸の日本語教会が一同に集まる、東海岸日本語教会合同ファミリーキャンプの年です。今回は9月3日(土)～5日(月)に大阪・北浜インターナショナルチャーチ牧師であり、ミッション宣教の声・主幹の黒田禎一郎先生をお招きして持たれます。黒田先生は、聖書のみならず、時事問題、特にヨーロッパ・中東情勢にも詳しく、今回は「見えない中東・欧州情勢の背景を読む～激動する世界と聖書」というテーマでお話をさせていただきます。第一次締め切りは5月29日です。下のリンクから案内をご覧ください。詳しくは教会にお問い合わせください。

http://jgclmi.com/fc2016_flier_April.pdf

- ❖ 礼拝のメッセージは英語に同時通訳されております。
- ❖ 日曜日礼拝前の 12 時 45 分から、子どもたちのための The BRAVE、中高生のための B.I.G.、英語での成人科バイブルスタディーに加えて、「祈り会」を持っています。礼拝のために、また互いのために祈る集まりです。また、礼拝堂入り口のロビーでは牧師が新しい方々をお迎えしたり、質問のある方や個人的にお話をしたい方々とお話をさせて頂く、自由に立ち寄れるテーブルを持っています。ぜひ、おでかけください。
- ❖ JCCNJ では郵送版に加えて、内容は同じですが、Eメールでの PDF 版の月報も発行しています。郵送から E 月報への切り替えをご希望される方は、hisho@jccofnj.orgまでご連絡ください。なお、E 月報にご登録頂きました方には、隔月発行の月報に加えて、狭間の月に、E お知らせをお届けします。
- ❖ 当教会では、みずほ銀行麹町支店(店番号 021)に日本円の口座があります。(口座番号は、ニュージャージー日本語キリスト教会一般献金:1085657、ニュージャージー日本語キリスト教会 会堂建築献金: 1085665 です。

*** 報告 ***

- ❖ 3月6日(土)の東日本大震災復興支援チャリティーコンサートとその前後に寄せられた募金の総額は \$3,660 でした。全額が、被災地の支援活動を継続しているオアシスライフケアに送られました。ご協力に感謝申し上げます。



- ❖ 3月27日(日)のイースター礼拝・愛餐会には多くの方々が出席され、ともにイースターをお祝いすることができ、感謝でした。また19日(土)のジョイジョイイースターにも80人を超えるこども達が参加し、楽しいひと時を過ごしました。



- ❖ 3月20日(日)の礼拝で松永敏江姉が洗礼を受けられました。おめでとうございます。



した。おめでとうございます。

- ❖ 4月10日(日)の礼拝で佐川杏奈姉が洗礼を受けられました。おめでとうございます。



- ❖ イースターに集められた里子支援献金の総額は 960 ドルとなり、全額を国際飢餓対策機構へ送金致しました。ご協力に感謝致します。続けて里子のナタニエルくん・ヘレンちゃんのためにお祈りください。
- ❖ JCCNJ 教会会堂取得のための積立基金は 2016年3月末時点で\$558,483.30、日本円 ¥90,761 です。各地からご献金下さっている皆様に心から感謝申し上げます。

